

Profile
たけむらかな ●4月4日生まれ。フリー。2014年に声優デビューし、16年からフリー。これまでにアニメ「ユリ熊嵐」、「ガールフレンド(仮)」、劇場版「THE LAST-NARUTO THE MOVIE」などに出演。



いつか表紙で帰ってきます！

『声優サバイバル』ポイント獲得数1位

竹村かな インタビュー

次世代プリンセスを発掘するライブ配信番組『声優サバイバル』。昨年12月までに行われたSeason4で見事1位に輝いたのは、Season3から続けての出場となった竹村かなさん。前回の戦いで得たものを生かした放送スタイルが、ファンの心をつかんだようです。

私と緒に戦った子とそのリスナーとで勝ち取った

——まずは優勝、おめでとーございます！
——ありがとうございます！今回は私以外の参戦した子と、そのリスナーも巻き込んでみんなで勝ち取った優勝だと思っています。

——一緒に戦った、一色恵奈奈さんや伊南咲希さんとは、12月に行われた「アフレコサバイバル」でも競い合った、言わば「ライバル」という間柄でしょうか？
——私の中ではライバル……というよりはちょっと違います。今回、追いつきの時期に長時間配信をしたのですが、一色さんと「この時間になったら起こしてね、私も起こすから」みたいな約束をして、励まし合いながら放送しました。伊南さんは声優としての技術がすごく高く、現場で会ったときはお芝居や演技プランの話でいつも盛り上がりっぱなしでした。一緒に協力し合いながら、ひとつの山の頂上を一緒に目指すというイメージでしょう。

——そういえば、竹村さんは前回の「Season3」にも出演されましたね。
——前回は、今思うと生真面目に放送しすぎたところがあり、かわいげが足りなかったのだ（笑）。初見の方にも楽しんでもいただけるように話し方を工夫したり、衣装もちよっとこだわったなど、改善策をあれこれ考えながら放送に臨みました。
——ラジオや朗読、チャレンジ企画など、毎回違う楽しみ方ができる内容でした。とくにラジオ枠は評判がよかったんです。リスナーの皆さんに台本を書いていただいたり、「こんなコーナーどう？」と意見をもらい、番組自体もみんなで作り上げた感じがすごく強かったです。もともと小さい頃に聴いていたラジオのパースナリティが声優さんだったことから、声優という職業に興味をもったので、いつか自分の冠番組をもちたいという夢があるんです。

——声優を目指すうえで、苦労したことありますか？
——京都から上京するときに親を説得するのが大変でした。上京する際にいくつか条件を出されて、なかには「手に職をつけなさい」というものもあって、声優とは関係のない資格を取得したりもしました。なんとかひとつずつクリアして、今も続けられています。
——竹村さんは、地元京都の地下鉄・京都市交通局制作のコンテンツ「地下鉄に乗るっ」公式キャラクター・太秦麗役としても活躍中です。
——私がオーディションを受けたとき、ちょうど麗ちゃんと同じくらいの歳で、彼女は日本酒が好きだというキャラクターなのですが、私の父が酒蔵で働いている影響もあって、私自身も日本酒が大好きなんです。これは運命に違いない！と直感し、オーディションでそのことを伝えたら、役をいただくことができました！

——放送でも京都弁をブッシュしていますよね。
——お聴きになった方はわかるかも知れませんが、少年声にも自信がありますので、どこかの作品で京都弁の少年役があればぜひ演じてみたいです！
——ちなみに、現在発売中のライトノベル「特殊性癖教室へようこそ」のオーディオドラマで伏黒折梨役を演じられています。こちらも「声優サバイバル」で勝ち取った役ですが、収録はいかがでしたか？
——折梨ちゃんは普段は内気なのですが、あるきっかけで感情が爆発し、喜怒哀楽がすごくはつきりする、というかなり難しい役です。公開オーディションという形だったのですが、大笑いしたり、ののしったり……。いちばんきつかったのはボイスパーカッションですね。生まれてから一度もやったことがないので、「本物みたいにお願います」とリクエストされて、何度もリテイクを出してしまっていたのですが、最終的にはなんとかOKをいただくことができました。
——ちなみに、竹村さんが目標にしている声優は？
——堀江由衣さんが昔から大好きで。アニメのキャラクターやナレーションはもちろん、ラジオのパースナリティも昔からされていますし、ライブやイベントではご自身の世界観を作り上げられていて……。堀江さんは、いつまでたっても憧れの存在です。
——堀江さんは、歌もたくさん歌われていますよね。



勝利の秘訣ですか？ そうですね……オリジナルの挨拶を考案することでしょうか。私の場合は、配信開始時に「かなぽんばー」と挨拶をしていたのですが、みんなも「かなぽんばー」って返してくれるんです。つまりは大事ですし、公式の番組に出演したときに司会者にいじってもらえる、というのもポイントだと思います（笑）。

私、歌はあまり得意ではないんです……（笑）。でも、キャラクターソングはいつか歌ってみたいです。キャラクターの気持ちになって歌うのってどんな感覚なのか、すごく興味があります。
——声優としての、今後の目標は？
——私が天寿を全うしたときに、ニュースで「●●役で知られる竹村かなさんが今日、亡くなりました」と報道されるような声優になりたいです（笑）。そのためには幅広く知られるアニメ作品に出演できるくらい、ビッグにならないと……。今回の優勝を機に、頑張っていけますので応援よろしくお願いします！